

脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	橋 雅哉	所属	芝浦工業大学SIT総合研究所	
専門領域	地域熱供給、再エネ導入計画、木質バイオマス、省エネ事業	居住地域／活動地域	東京都/全国	
キーワード	木質バイオマス、温泉配湯、温泉熱、熱供給、省エネ、初期段階におけるビジョン・方向性の検討、ポテンシャル調査、地域間連携、官民連携、住民や事業者との合意形成、事業計画・事業性評価、事業体制構築	派遣形式	スポット型	
略歴	・ 清水建設にて建物の設備設計に従事(1982年～2018年)、特に地域熱供給施設の計画・設計・監理 ・ 2010年～2018年スマートコミュニティ関連事業開発を担当 ・ 1987年～1989年ドイツ・ベルリン工科大学にて地域熱供給を研究 ・ 2018年個人エンジニアリング事務所「京環境研究所」を開設(代表) ・ 2023年～芝浦工業大学SIT総合研究所特任研究員			
過去の地方公共団体との関わり	・ 京都舞鶴港周辺地域の熱供給事業詳細調査業務、地域熱供給配管網の計画・事業性検討（京都府舞鶴市） ・ 自治体新電力の再エネ電力需給調整と連携した熱電併給エネルギーマネジメント事業可能性調査、地域熱供給配管網の計画・事業性検討（鳥取県米子市） ・ 既存インフラ活用によるスマートシティの構築：広島大学東広島キャンパスを核としたエリアエネルギーマネジメント計画立案（広島県東広島市）			
一言	地域の皆さんと一緒に、木質バイオマスなどの利用による小規模熱供給や、都市域での地域熱供給の実施により、脱炭素化に貢献したいと思います。			
参考URL	・ 熱供給システムの新たな形の登場と次世代モデルの考察(2013年) https://www.jdhc.or.jp/wp_kanri/wp-content/uploads/2013/09/DHC86_taidan.pdf ・ 都市の非常時対策としてのエネルギーシステム整備の考え方と地域熱供給への期待(2019年) https://www.jdhc.or.jp/wp_kanri/wp-content/uploads/2019/09/DHC110_web_teidan.pdf ・ 地域熱供給配管網の経済的最適化に関する研究 空気調和・衛生工学会論文集[No.291, No.305](2021年、2022年)			